

令和3年度事業報告

(第2期)

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

一般社団法人 さいたま新都心エリアマネジメント

令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

★包括協定書の締結

「さいたま新都心エリアマネジメント・ガイドライン」に基づき、地区内のエリアマネジメントを推進し、さいたま新都心地区の価値向上に寄与することを目的として、さいたま市とまちづくり推進協議会との三者間で、令和4年1月26日に「さいたま新都心地区におけるエリアマネジメント連携に関する包括協定書」を締結しました。

この包括協定締結により、当法人とさいたま市が連携し、さいたま新都心地区のエリアマネジメントによるまちづくりが位置づけられたことで、当法人の活動が推進しやすい環境が整ってきました。

以下、令和3年度の取り組み報告

1. 設立記念事業

当法人の設立を受け、当法人の活動を関係者に広く周知するため、設立記念イベントとしてシンポジウムを計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を実施しませんでした。

2. 公共空間等活用事業、コミュニティ形成事業

地区の賑わい創出、コミュニティ形成を進めるために、まちづくり推進協議会等と連携し、Eデッキ（東西自由通路）等での各種社会実験イベントや地区内ワーカーの参加型イベントを計画しました。

(1) キックオフミーティング

事業の検討にあたっては、具体的な企画を立案するため、キックオフミーティングを2回実施しました。新都心の魅力などをワークショップで話し合い、具体的な取り組みの種の抽出を行いました。立案した企画は以下の2つです。

- ① シント サンドウ プロジェクト
- ② ビジョンでホームタウン映画祭



(2) E デッキ等公共空間活用社会実験

キックオフミーティングで立案された「シント サンドウ プロジェクト」をベースに、片倉工業(株)様と連携した公共空間利活用の社会実験(秋フェス)を9月18日から26日の実施を予定していましたが、緊急事態宣言発令に伴い中止しました。一方で、施設管理者と交通管理者との協議により、公共空間利活用の状況を把握し、一定の成果を得ることができました。

その後、コロナの状況を見ながら事業実施の機会を待ち、4月下旬から5月上旬に開催するコクーンシティ誕生祭と連携したアウトドアをテーマにした公共空間利活用のにおいて、「シント サンドウ プロジェクト」でのコンテンツを取り入れ、実証実験を行う計画をしました。

(3) 花の装飾会

まちづくり推進協議会主催の季節の花々の寄せ植えの制作・展示を歩行者デッキで実施する「花の装飾会」に、当法人として参加しました。

開催日 2021年7月20日(火)、12月21日(火)の2日間

(4) さいたま新都心まち探検

まちの魅力を再発見し会員交流を目的とする企画の第1弾として、普段は体験することのできない以下の施設2か所を半日で案内するツアーを企画いたしました。

開催日 2021年11月18日(木)

施設 ① さいたまスーパーアリーナ ルーフトップツアー

普段は登れないアリーナの屋上からまちを眺めよう！

② 東京ガス さいたま新都心地域冷暖房センター ツアー

大切なエネルギーについて考えてみよう！

参加人数 約27名

(5) 浦ピ at さいたま新都心東西自由通路

浦ピ実行委員会と連携し、東西自由通路（E デッキ）にストリートピアノを設置し、通行する方が足を止める場及びコミュニティ形成を図りました。当法人は市から東西自由通路の使用許可を得て、浦ピ実行委員会がピアノの設置管理を行っています。

設置期間 2021 年 11 月 28 日～2022 年 8 月 31 日

(6) ホワイトリボンラン 2022

公益財団法人ジョイセフと連携し、さいたま新都心を会場にホワイトリボンランを実施しました。

実施日 2022 年 3 月 5 日（土）

走行場所 月のひろば⇒コクーンシティ⇒スーパーアリーナ⇒月のひろば（約 3km）

参加人数 47 名（エリマネ会員 30 名＋一般参加者 17 名）



(7) LOVE JAZZ TIME、ベジチェックブース

埼玉県ビッグバンド連盟様主催の「LOVE JAZZ TIME」、明治安田生命様主催の「ベジチェックブース」の駅前ステージが設置されるイベントが開催されました。当法人は市から東西自由通路の使用許可を得て、主催者に貸出しました。

開催期間 2022 年 3 月 12 日(土)～13 日(日)

(8) 各種事業の実施から見えた事項

○施設管理者の考え

- ・市管理の施設（東西デッキ）について、管理部局並びに施設特性により許可基準がそれぞれ定められている。（電気料等の取り扱い含む）
例：東西デッキでの物販が可能な施設と付加の施設がある。
- ・月のひろば（管理者：関東財務局）は、まち協との連盟申請であれば許可可能。ただし、物販等の制約あり
- ・交通管理者（道路使用許可）：デッキについては許可不要。道路については、企画内容によるため、協議が必要。

○他団体との連携事業の検討事項

- ・他団体と連携した事業を行う場合の共催、事業協力、後援等のルール化の検討。
- ・公共空間利活用によるブース出展者等の事業者との連携についてルール化の検討。

○エリマネ主催事業

- ・エリマネ主催事業での運営に当たるマンパワーの不足
- ・協賛企業を募るなどの資金確保の検討

ほか

3. 情報発信事業

より魅力的なコンテンツの発信に向けたホームページの作成を進めるとともに、ホームページや SNS 等を活用して情報発信を行い、アンケートなどニーズの把握を行いました。また、協議会、他事業者イベント等と共催または後援として参画し、当法人の P R 活動を行いました。

(1) ホームページや SNS 等を活用した情報発信、アンケート

主に公共空間等活用事業やコミュニティ形成事業に係る情報発信を行うとともに、さいたま新都心まち探検やホワイトトリボンラン 2022 の参加者にアンケートを行うことで、事業の評価やニーズの把握を行いました。

○[HOME - 一般社団法人 さいたま新都心エリマネジメント \(saitamashintoshin-erimane.com\)](http://HOME-一般社団法人 さいたま新都心エリマネジメント (saitamashintoshin-erimane.com))

○別添資料-1,2「アンケート結果」を参照

(2) 大型映像装置の試行事業に関する調整

市が所有するさいたま新都心駅前大型映像装置を活用した情報発信の試行事業を実施するため、市や委託先業者と調整を行いました。

(3) 他事業主体との連携事業

別添資料-3「事業一覧」を参照

4. 組織運営に関する検討事業

(1) 包括協定書の締結

「さいたま新都心エリマネジメント・ガイドライン」に基づき、地区内のエリマネジメントを推進し、さいたま新都心地区の価値向上に寄与することを目的として、さいたま市とまちづくり推進協議会との三者間で、令和 4 年 1 月 26 日に「さいたま新都心地区

におけるエリアマネジメント連携に関する包括協定書」を締結しました。

(2) 大型映像装置の試行事業に関する協定書の締結

上記包括協定書に位置付けられる、まちの情報発信及び広報活動を市と当法人が連携して行うにあたり、市と二者間で、令和4年3月31日に「さいたま新都心駅前大型映像装置を活用した情報発信の試行事業に関する協定書」を締結しました。

5. 会員及び役員の状況

(1) 会員

正会員 10 団体、賛助会員 3 団体、特別会員 1 団体（計 14 団体） ※以下 R3 入会団体

※4 月 3 団体（正会員：有限会社峰美、賛助会員：関口氏、佐藤氏）

※6 月 1 団体（賛助会員：株式会社ジェイコム埼玉東日本さいたま北局）

※1 月 1 団体（特別会員：さいたま市）

※3 月 1 団体（正会員：THE MARK GRAND HOTEL）

(2) 役員

理事 8 名、監事 2 名

6. 社員総会及び理事会の開催

(1) 社員総会

定時社員総会を 6 月に開催しました。（コロナによる書面開催）

(2) 理事会

定例理事会を 5 月 10 日、11 月 17 日、2 月 25 日の 3 回開催しました。